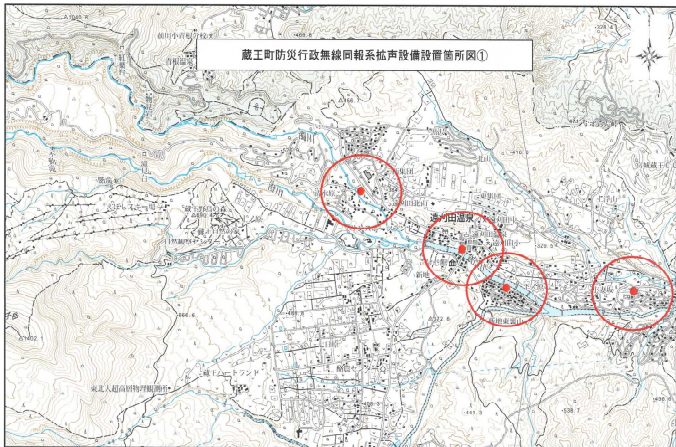


蔵王町の火山防災対策の取組 1

防災行政無線同報拡声設備（防災スピーカー）設置事業

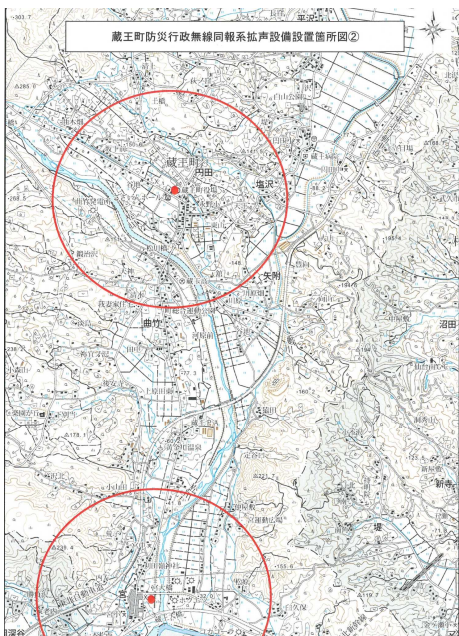


平成27年度～平成29年度事業箇所
遠刈田地区

防災行政無線同報拡声設備設置事業の概要

火山の噴火・各種災害に備えて、住民への情報伝達の手段のひとつとして平成27年度より各地区に防災行政無線の整備を行いました。特に蔵王連峰の麓にあたる遠刈田地区へは、4基の防災行政無線を整備し有事への対策を実施しました。

| | | | |
|--------|-----|----------|---------------|
| 平成27年度 | 事業費 | 11,664千円 | 1基 |
| 平成28年度 | 事業費 | 24,840千円 | 1基（庁舎操作盤整備含み） |
| 平成29年度 | 事業費 | 29,700千円 | 2基 |
| 平成30年度 | 事業費 | 38,340千円 | 2基 |



平成30年度事業箇所
永野地区・宮地区



蔵王山噴火を想定した蔵王町総合防災訓練の様子

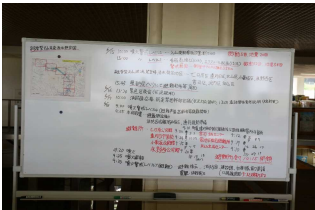


災害対策本部設置運用訓練の状況①

噴火警戒レベル3・4・5へ変化していく状況を想定した、本部設置運用訓練



自衛隊による融雪型火山泥流浸水区域内避難者の輸送訓練の様子



災害対策本部設置運用訓練の状況②

本部設置運用訓練での状況付与一覧

現地災害対策本部の様子



訓練参加者 421名

関係機関団体（宮城県、陸上自衛隊船岡駐屯地、白石警察署、白石消防署、蔵王町消防団、蔵王町交通指導隊、蔵王町防犯実働隊、道路維持業者4社、蔵王町）238名

一般住民参加者 183名

蔵王町総合防災訓練の概要

開催日 平成30年6月18日

設定時期を降雪期とし噴火警戒レベルが3・4・5へ変化していく状況の中で水蒸気噴火が起き融雪型火山泥流が発生した想定の実施。関係機関との協力体制や避難所開設及び各種防災対策を迅速かつ的確に行い、併せて住民等の防災意識の高揚と防災知識の向上を図ることを目的とし、本部設置運用訓練・避難所開設訓練・避難者誘導訓練・情報伝達訓練・広報訓練・交通規制訓練の内容で、町及び関係機関等における初動対応の確認と検証を中心に訓練を開催しました。